

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道414号（伊豆縦貫自動車道） 天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県伊豆市矢熊 至：静岡県伊豆市湯ヶ島	延長	5.7 km		
事業概要	<p>一般国道414号伊豆縦貫自動車道は静岡県沼津市岡宮を起点とし、伊豆の国市、伊豆市等の主要都市を経て下田市へ至る延長約60kmの高規格道路である。</p> <p>このうち、一般国道414号の天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）は、伊豆市矢熊を起点とし、伊豆市湯ヶ島に至る延長5.7kmの道路事業である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>当事業の整備により、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保、第三次救急医療施設へのアクセス改善による救急医療活動の支援、高速ネットワークの確保による観光振興の支援等に寄与することを目的とする。</p>				
全体事業費	約900億円	計画交通量	約9,100台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	<p>【静岡県知事】</p> <p>伊豆縦貫自動車道は、東名高速道路及び新東名高速道路と一体となって高規格幹線道路網を形成するとともに、伊豆半島における道路体系の骨格となり、地域の経済活動や命の道として災害時の復旧活動や、平時の救援救急活動を支える重要な道路です。「伊豆縦貫自動車道 天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）」は、ミッシングリンクとなっている天城峠道路の一部区間であり、伊豆半島の今後の発展に大きく寄与することから、新規事業化と事業推進を強く希望します。</p> <p>静岡県としては、伊豆縦貫自動車道の機能を最大限発揮するため、「伊豆半島の道路網整備実施計画」に基づいて関連する道路整備などを主体的に進めるとともに、伊豆市と一体となって当該事業区間の用地取得に最大限協力してまいります。</p> <p>特に、南海トラフ地震で発生する津波被害を想定した「伊豆版くしの歯作戦」の実効性を高める道路整備や防災拠点としての道の駅「伊豆月ヶ瀬」の機能強化を国土交通省と連携し進めてまいります。</p> <p>また、地域振興の観点から伊豆半島におけるエコツーリズム・サイクルツーリズムや観光周遊の促進に向けて、伊豆縦貫自動車道と並行する現道の走行環境の見直しや、（一社）美しい伊豆創造センターや地元市町等とともに地域間の連携拠点となるよう「道の駅」の活用を進めてまいります。</p> <p>さらに、当該区間の事業を円滑に実施していくため、当該事業区間からの建設発生土については、市町と連携しつつ、可能な限り地域の基盤整備による活用を進めるとともに土質に応じた適正な処理の運用について検討してまいります。</p>
----------------	---

学識経験者等の第三者委員会の意見	<p>・新規事業化については妥当である。</p>
------------------	--------------------------

事業採択の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対便益：便益が費用を上回っている。</li> <li>手続きの完了：計画段階評価手続き完了（H30.1）、都市計画手続き完了（R5.1）</li> </ul>
-----------	--

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3 (0.8)	総費用：8,223億円 （事業費：7,654億円 維持管理費：456億円 更新費：114億円）	総便益：10,314億円 （走行時間短縮便益：9,169億円 走行経費減少便益：929億円 交通事故減少便益：216億円）	基準年：令和4年
	感度分析の結果		交通量変動 B/C=1.2 (交通量 -10%)	B/C=1.3 (交通量 +10%)	
			事業費変動 B/C=1.2 (事業費 +10%)	B/C=1.3 (事業費 -10%)	
			事業期間変動 B/C=1.2 (事業期間 +20%)	B/C=1.3 (事業期間 -20%)	

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響		
	渋滞対策	—	・注目すべき影響はない
	事故対策	◎	・平面および縦断線形不良箇所や幅員不足区間の回避により、安全性が向上。 〔平面線形不良箇所数〕 現況：23箇所 ⇒ 整備後：0箇所（全て回避） 〔縦断線形不良区間〕 現況：0.2km ⇒ 整備後：0km（全て回避） 〔幅員不足区間〕 現況：4.6km ⇒ 整備後：0km（全て回避）
	歩行空間	—	・注目すべき影響はない
社会全体への影響	住民生活	◎	・伊豆地域南部から第三次救急医療施設までの救急搬送時間が短縮 〔下田市～順天堂大学静岡病院（第三次救急医療施設）までの所要時間〕 現況：77分 ⇒ 整備後：51分（26分短縮）
	地域経済	◎	・移動時間短縮により観光圏域が拡大し、観光客の増加が期待されるなど、伊豆地域の観光振興を支援 〔下田市の1時間圏域における主要な観光拠点数〕 現況：31拠点 ⇒ 整備後：35拠点（4拠点増加）
	災害	◎	・事前通行規制区間を回避し、南海トラフ巨大地震等の災害発生時に信頼性の高い道路ネットワークを確保 〔月ヶ瀬IC～下田市までの所要時間〕 現況：61分 ⇒ 整備後：36分（25分短縮）
	環境	—	・注目すべき影響はない
	地域社会	—	・注目すべき影響はない
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画段階評価手続き完了（H30.1）、都市計画手続き完了（R5.1）</li> <li>伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会（会長：静岡県知事）より早期事業化を要望。</li> </ul>	

採択の理由

<p>費用便益が一体評価で1.3と便益が費用を上回っていると同時に、計画段階評価手続きならびに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。</p> <p>また、当該区間の整備により災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療施設等への速達性・確実性の向上、高速ネットワークの確保による観光振興の支援など、事業の必要性・効果は高いと判断できる。</p> <p>以上より、本事業の新規事業化については妥当である。</p>
--

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※B/Cの上段は沼津岡宮IC～（仮称）下田ICを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。